

2025.05

臓器提供の 意思表示に関する

Q

&

A

Q1

臓器移植ってなに？

A 病気や事故で臓器が働かなくなり、移植でしか治療できない人に健康な臓器を移植する医療です。

移植を受けた人は、個人差はありますが普通の生活に戻れるようになります。臓器移植は善意による臓器の提供、そして広く社会の理解と支援があって成り立ちます。

Q2

意思表示はなぜ必要なの？

A 意思表示をしていないと、もしものときに家族が悩んでしまいます。

臓器提供時には、もう自分の意思を伝えることができません。家族が悩んだり、迷ったりしないように自分の意思を表示すること、そして家族とお互いの意思を話すことが大切です。すでに4割を超える方が家族などと話をしており、約1割の方が意思表示をしています。



意思表示がある場合、
家族はその意思を尊重



意思表示がない場合、
家族はその決定に負担



出典：内閣府「移植医療に関する世論調査」2021年

Q3

臓器提供はどこでもできるの？

A 病院で亡くなったときに
できることがあります。

心臓が停止した死後の提供は、手術室のある病院であればできます。
脳死下の提供は、大学附属病院等の高度な医療を行える病院でできます。

Q4

提供したあとの体はどうなるの？

A 摘出手術(3～5時間)をした後は家族の元へ戻ります。

摘出時に喉元からおへその下まで傷が1本入りますが、手術後はきれいに縫合し、外から分からないようにします。その後は通夜や葬儀などを通常通り行えます。



Q5

意思表示は誰でもできるの？ 一度決めた意思を変えてもいいの？

A 意思表示に制限はありません。

高齢の方や病気で薬を服用している人など、どなたでも表示できます。

また、意思はいつでも、何度でも変更ができます。

※書面での臓器を提供する意思の表示は、15歳以上が有効です。
臓器を提供しない意思の表示は、何歳からでも、口頭でも有効です。

Q6

脳死ってなに？

A 脳死とは、脳のすべての働きがなくなった状態です。

人工呼吸器によって心臓は動いていますが、どんな治療をしても回復することはない、多くの場合、数日で心臓も止まってしまいます。呼吸・循環機能の調節などを司る脳幹が機能している植物状態は回復する可能性があるため、全く別の状態です。

詳しくはこちら



正常な脳



脳死



植物状態

機能喪失部分

■ 大脳 ■ 小脳 ■ 脳幹

Q7

「提供しない」にマルをつけてもいいの？

A 「提供しない」の意思も大切です。

臓器移植では4つの権利「提供する」「提供しない」「移植を受ける」「移植を受けない」がいずれも等しく尊重されます。

提供する

提供しない

移植を受ける

移植を受けない



もっと知りたい人へ／

グリーンリボン検定はこちら

臓器移植に関するさまざまな知識を3択クイズを通してより深く学ぶことができます。



検定に合格すると
グリーンリボン
ピンバッジが
もらえます。

